



[夢と志を育てる学園]

玉手山学園 広報

2018
春夏号

Vol. 87

巻頭 理事長あいさつ

〇〇ができるようになる
あなたの〇〇は?

恩 感

建学の精神「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

巻頭 理事長あいさつ

〇〇ができるようになる
あなたの〇〇は？



玉手山学園に ようこそ！ ここを楽しみましょう

学生・生徒・園児(以下、学生と称す)、教職員の皆さん、玉手山学園に“ようこそ”。学園を愛し、生涯の友と出会い、この街に親しんで学園生活を楽しみましょう。“こんな学校、こんな街なんか…”より、この学校、仲間、街で“何かをしてやろう”と考える方が豊かな気持ちになれますし、楽しいことも訪れてくると思います。

あいさつ、笑顔は魔法の力がある

「あいさつ」をしましょう、「笑顔」を心がけましょう。これが豊かな心、人格の基本です。理屈は不要です。ビックリするほど気持ちのいい学園生活になると思います。もちろん私も、あいさつと笑顔を皆さんに届けます。

夢と志を育てる

学園は学生・教職員が各々の「夢」に近づくために自分を伸ばすところ です。そのエネルギーが「志」です。「夢と志」は色々な感動・感謝の体験で 育っていきます。この学園に来たら元気・やる気が出てきた、夢中になれる ものが見つかった。そんな学園をめざしています。



プロのカメラマンをめざす 福科大高校の卒業生

あなたの〇〇は？ 実直に やってみよう できる方法を考える

〇〇(ができるよう)になりたい。この気持ちは人の生きがいになります。この願いを叶えるために、“実直に” 取り組む、そして“やってみよう”という気概を忘れず実践することが大切です。できない(やらない 逃げる)理由より、できる(やる)方法を考える方が豊かな心になれると思います。若い方々に申し上げたい、「若さは宝物」

学ぶ(分かる)喜びを感じる(にきづく)

学校は授業を聞いて、テストで合格点をとらなければ卒業できません。決して愉快ではなく楽なことではありません。しかし、少しでも「学ぶ(分かる)喜びを感じる」ことができたらどうでしょう。まるで被害者のごとく“させられている”のではなく、自らの意思で(主体的に)学ぶ方が充実感を持てます。この当然のこと、しかし容易でないことに学園教職員は真っ向から取り組みます。各々の授業で「〇〇を学ぶ、そして〇〇ができるようになる、〇〇に役立つ」を意識して語り続けることが基本です。

“Kanjo”認定こども園スタート 幼稚園の進化

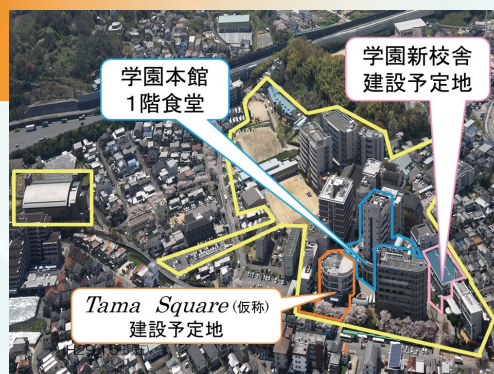
“良質の教育を長時間、0歳から”という社会のニーズに応えるために、平成30年4月、“認定こども園”に進化しました。幼稚園教職員は新たなチャレンジをします。「食育」も重視し、新棟も現園舎の近傍に建築します。**WAKUWAKU**します！



幼稚園教職員は新たなチャレンジ 進化

学園新校舎、Tama Square(仮称)、 食堂リニューアル For the students

勾玉橋門の近くに学園新校舎、淑女橋門の正面に広場Tama Square(仮称)、学園本館1F食堂のデザイン刷新を計画しています。遊んで 語って 寛いで 食事を楽しんで 気づけば“もうこんな時間”そして自分を磨いている(トレーニング、勉強)...そんな願いを込めて快適空間をつくり上げます。どんなものができるのか? お問い合わせ大歓迎です。(喜ばれるものをつくりたいから)



この学園を好きになる 快適な居場所にしましょう

学園グッズ 役に立ち自慢したくなるものを

学園の存在感を物、形にする…そして学校を好きになる。そんな願いを込めて学園グッズを準備中です。これまたお問い合わせ大歓迎です。

建学の精神「感恩」 ありがとう

最後になりましたが学園は創設76周年、建学の精神は「感恩」です。学園で多くの“ありがとう”に出会い大切にしてください。豊かな学園生活を祈念いたします。

感恩

理事長・学園長 江端 源治

入学式・入

大学入学宣誓式

4月3日、平成30年度入学宣誓式が挙行されました。本年度は学部・院を併せて662名が入学しました。勾玉橋前ではクラブ・サークルの勧誘チラシが配布され、真新しいスーツに身を包んだ新生は笑顔でチラシを受け取っていました。式では手話部による手話コーラス、手話通訳が披露されました。当日は天気にも恵まれ、暖かな陽気が学園を包むとともに、在學生と新生の新たな門出を祝うことができました。



短大入学宣誓式

4月2日、第54回入学宣誓式が挙行されました。新生260名は、大嶋学長の式辞や江端理事長の祝辞、在學生からの歓迎の言葉を真剣な表情で耳を傾けていました。式終了後は学科オリエンテーションが行われ、これから始まる新生活に期待と不安を抱いている様子でした。これからの短大生活が有意義で充実したものとなるよう教職員一同全力でサポートしていきます。



園式特集

高校入学式

今年は桜の開花が例年より早く、葉桜の中、平成30年度の入学式(4月7日)が本学園記念講堂において厳かに行われました。学校長からの入学許可宣言を受け、新入生367名が関西福祉科学大学高等学校の一員に迎えられ、進学コースの面口遥稀さんが新入生の代表として高校生活への決意を力強く述べました。会場は新入生の保護者で埋め尽くされ、新しい環境で夢の実現と飛躍を誓う我が子の姿に見入っていました。



幼稚園入園式

4月6日、年少組101名、年中組8名、年長組3名、合計112名の子どもたちが幼稚園に入園してきました。

真新しい制服に袖を通し、保護者の方と手をつなぎながら幼稚園に来た子どもたち。ドキドキしながら自分のクラスに行き、担任の先生を見て元気よく挨拶する姿や、少し恥ずかしそうな姿など様々な様子が見られました。

これから始まる園生活、そして初めての集団生活に不安や期待があるかと思いますが、親子ともに安心していただけるよう、教職員一同努力して参ります。



卒業式・卒園式特集

大学卒業式

3月23日、春の陽気が感じられる晴天の中、平成29年度卒業・修了証書学位記授与式が挙行されました。本年度は学部生491名、大学院生12名、合計503名が卒業し、彩り鮮やかな女子学生の袴姿は記念講堂内を、より一層華やかにしていました。式終了後は、学科に分かれて学位記の授与や卒業記念パーティーが開催されました。巣立っていった卒業生がこれから社会で活躍されることを期待しています。



短大卒業式

3月19日、第52回卒業証書学位記授与式が挙行されました。保育学科104名、養護保健学科36名、歯科衛生学科104名、医療秘書学科39名、合計283名がそれぞれの夢に向かって巣立っていきました。式終了後、記念写真を撮影する姿、学科・クラブ所属の後輩たちからお祝いされる姿など、学園内には各所で笑顔が溢れていました。



高校卒業式

2月24日快晴の中、353名が卒業しました。答辞では、2018年冬季オリンピックでの日本選手の活躍と、次のステップへと進んでいく自分たちとを重ね、心をこめて堂々と述べていました。第70回卒業生として、建学の精神である「感恩」を胸に、高等学校で学び得た「知識」や「思い出」を糧として世の中で活躍してくれると信じています。



幼稚園卒園式

3月16日、年長児クラス青組のこどもたち140名が卒園式を迎えました。

卒園証書授与では、ひとりひとり名前を呼ばれて元気に返事をし、園長先生から卒園証書を受け取りました。その時の堂々とした姿に、大きく成長を感じました。4月からはそれぞれ新しい生活がスタートします。幼稚園での思い出を大切に大きく羽ばたいてくださいね。



リーダーズキャンプ

大学・短大 学生支援センター 玉井 和恵



クラブ・サークル委員会主催の大学及び短大合同の第12回リーダーズキャンプを、2月15日～16日の1泊2日で大阪府立羽衣青少年センターにて実施しました。この研修は、次年度クラブ・サークルの部長、副部長や大学祭実行委員を対象に、それぞれ代表者がリーダーとしての自覚を持ち、今後リーダーに求められる資質の向上を図る事を目的として実施しています。また、1泊2日で寝食を共にすることで関係性を深め、各プログラムを通じて親睦を深めることも重要な役割の一つとして行っています。



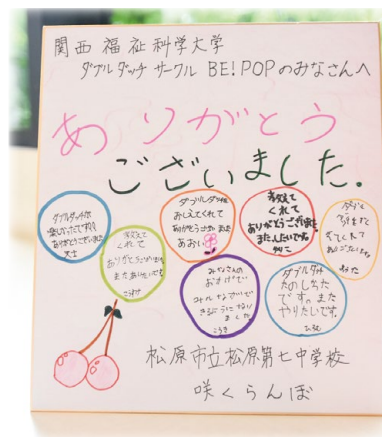
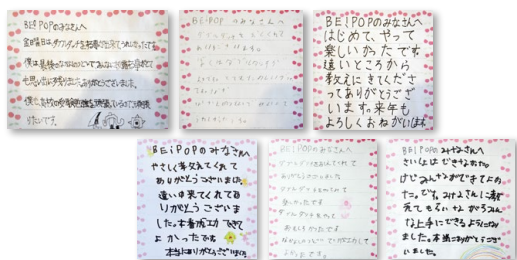
今年度は、心理科学科の竹橋洋毅先生に研修会の講師をご担当いただき、チームワークに必要な要素、自分の強みを活かしたリーダーシップの発揮の方法等についてご教示いただきました。各討議では、学科、学年の垣根を越えて真剣に話し合い、各々の強みを活かして今後どのようにリーダーシップを発揮していくか、またチームワークの大切さを再認識できたよい機会となりました。研修での学びが今後の活動に活かされることを期待しています。



大学ダブルダッチサークル「BE! POP」のボランティア

大学・短大 学生支援センター 玉井 和恵

この度、大阪府立松原第七中学校より大学 ダブルダッチサークル「BE! POP」に講師の依頼をいただき、昨年6月から9ヶ月間、6名の学生たちによる出前講習会を実施しました。参加した生徒さんはとても熱心で、色々な技術を身につけ、発表会で実演できるまでに上達されたことから、先生や生徒の皆さんに大変喜んでいただきました。発表会終了後には、中学校の生徒さんより感謝のお手紙や心温まる色紙をいただきました。これからも課外活動を通じて地域の方々との触れ合う機会を大切に、学生たちの学びを深めていける活動を支援していきます。



「快適空間」^{タマ}*Tama Square*^{スクエア}(仮称)始動!

法人本部 施設部 筒井 佑一

Tama Square(仮称)ワーキングチームは、高校蜂の巣校舎解体跡地の空間整備のため、平成29年6月に女子中心のメンバーでスタートを切りました。平成29年10月に服部建築事務所をパートナー会社に決定し、構想策定への作業を進めてきました。

今回は、皆さんに*Tama Square*(仮称)を堪能していただけるよう、ご紹介をさせていただきます。

Tama Square(仮称)のコンセプトは水玉・ドットとなっています。円形にすることで皆さんがどこからでもアクセスできるという仕掛けがあります。また、食堂前をテラス風にする事で、開けた空間となり、会話も弾んでくれる事を期待しています。

工事が阪神園芸に決定し、3月16日に理事長、学園理事、各校園の所属長、ワーキングチーム出席の中、地鎮祭を行いました。地鎮祭はあいにくの雨でしたが、*Tama Square*(仮称)が無事に完成し、皆さんにとって快適空間となるよう祈願しました。宮司様からは「雨降って地固まる」と言う諺のように、樹木、植栽には良い地鎮祭になったとのお言葉をいただきました。

4月にはいよいよ工事が開始し、阪神園芸の得意分野を活かしてワーキングチーム皆で試行錯誤し、現場合わせを行いながら完成に向けて走り続けています。

皆さんにお披露目できるのは7月を予定していますが、*Tama Square*(仮称)が「皆が集える」「快適空間」に生まれ変わります。完成まで楽しみにお待ちしております。



完成イメージ図(ダミー)



学園新校舎構想について

法人本部 施設部 田堀 富造

平成30年1月末、短大2号館校舎が解体されました。

昭和36年に竣工した校舎は、半世紀以上にわたり、学園の歴史をきざみ、その役目を終えました。

その跡地に学園新校舎を建設すべく、大学・短大の学生委員9名を含む建設委員会が組織され、その中身について議論しています。

1階には現短大1号館の事務局機能の移転を、2階・3階には学生さんの居場所となる自習室を、4階以上の上層階には、新しい機能を持った講義室を計画中です。

特に、自習室については、「学んで」「遊んで」「食べて」「寛いで」「議論して」「自由に、気楽に、快適に」をキーワードに、シンボリックでインパクトのある校舎を計画しています。

早ければ、11月より工事に着手し、平成31年の9月に完成予定です。

学生・生徒・園児並びに教職員の皆様には、工事の完成を WAKU-WAKU してご期待いただきたいと思います。



完成イメージ図(ダミー)

「消防長表彰」を受賞しました

法人本部田堀富造施設部長が、平成30年度消防記念日表彰において、「火災予防普及啓発功労者」表彰を受賞しました。

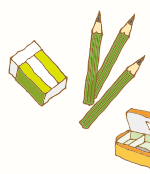
平成19年より柏羽藤火災予防協会の広報部会の一員となり、火災予防月間キャンペーンなどに参加し呼びかけを行ってきました。

近鉄古市駅、河内国分駅及びJR柏原駅で行ってきましたので、見かけた方もいるかと思えます。



<コメント>

この度の受賞を嬉しく思います。さらにこれを励みに、街の火災予防に貢献できるよう、より一層頑張ります。



学園オリジナルグッズを検討中!

高校 敷田 純一



現在、学園のオリジナルグッズを検討しています。目的は、グッズを通じて自分の通っている学校に、より親しみを持ってほしい、好きになってほしいという思いからです。検討チームには、大学生・高校生を迎え、「Tama merchandise PJT」(通称:Tama chan(タマちゃん))と称し元気に活動しています。

グッズを考案するにあたり、便利・お洒落・実用的・低価格など、選択肢が多くあれこれと意見が尽きません。そこで、大学生・短大生・高校生・教職員を対象に、傍聴者が自由に発言できるような会議運営を行っています。どんな方が来てくれるのか、わくわくしながら待っています。

製作中の学園グッズは夏以降の販売をめざしています。楽しみにしてください。



大学20周年 & 高校新校舎竣工記念事業では、記念品としてトートバッグと学園サイダーを製作・配布しました!



第16回定期演奏会 (保育フェスタ)を終えて

短大 保育学科 太田 顕子

2月24日(土)、「第16回定期演奏会 関女☆保育フェスタ」を柏原市のリビエールホールにて開催しました。

当日は、前週末までの寒さもすこし和らぎ、穏やかな天候の1日となりました。

オープニングでは、和太鼓クラブ「鼓魂(こだま)」が春を呼ぶような演目「芽吹」を力強く演奏しました。

合唱では、1年生全員で3曲合唱しました。最後の1曲「はらぺこあおむし」では、歌いながらも、エリックカール作「はらぺこあおむし」をペープサートやパネル等を用いて表現しました。あおむしが最後に蝶になる表現は1年生全員で行い、とても華やかな演出でした。

後半には2年生の和太鼓アンサンブル研究受講者による演目、そしてピアノ演奏研究受講者によるピアノ演奏と、2年生らしい素晴らしい演奏を聞かせてくれました。

また、関西女子短期大学附属幼稚園の年長組(5歳児)によるかわいい歌声、地域の「合唱講座受講者」の皆さまによるコーラスの美しい歌声もホールに響き、素敵な演奏会となりました。



学外オリエンテーションを終えて

短大 養護保健学科 毛利 春美

短期大学では、4月5日(木)～6日(金)、賢島サミット会場にもなった「宝生苑」で、新入生258名、教員35名、2年生16名の総勢309名が宿泊研修を実施しました。この研修会は新入生相互並びに教員との親睦を深め、学習意欲の高揚を目的としています。1日目は緊張いっぱいの新入生でしたが、貸し切り列車に乗り、春がいっぱい詰まったお弁当を食べ、座席隣同士それぞれお友達になり、賢島に到着。駅から徒歩で宝生苑に向かい、各学科会場に入り、オリエンテーションが始まりました。オリエンテーションは、保育学科長の渡邊先生、福間先生、保育学科学生による校歌指導、各学科それぞれのプログラムの実施、写真撮影と分刻みのスケジュールで実施されました。サミット会場にも選ばれるような由緒ある宝生苑のスタッフの皆様丁寧な対応をいただき、一流のおもてなしを体験できたことも大きな学びとなりました。この2日間の学外オリエンテーション、参加者全員が事故なく笑顔で帰宅の途につくことができました。2日目の新入生の安心した顔と、はちきれんばかりの笑顔、そして一緒に参加した2年生が1年生のおもてなしをしている姿に、誇らしくもありうれしく、それぞれの成長を実感した2日間でした。新入生の感想では、「これからの学生生活やっていけそう」「友達ができました!」とそれぞれが思えたようで「関女で安心して勉強ができる」「学びあう仲間ができた」という幸せを、学生自身が実感できたことが何よりの成果です。関係教職員の皆様、ご協力ありがとうございました。





1年間の集大成! 生活発表会

幼稚園 浅野 友希

子どもたちが楽しみにしていた生活発表会が、2月17日(土)・18日(日)の両日、記念講堂で行われました。各学年、クラスごとに合唱・合奏・劇遊びに取り組み、発表会当日に向けて練習してきました。なかでも、桃、ひよこ組の子どもにとっては、初めての発表会。「どんなことをするのか?」とドキドキしている様子で、練習当初は、友達や保育者の顔を見ながら恐る恐る劇の台詞を言い、役の動きを恥ずかしそうにしていました。練習を重ねるごとに自信をもって大きな声で台詞を言えるようになり、「もっとゆっくりだよ」「ここは早くしよう」と子どもたちから表現を楽しむ姿が見られるようになりました。どの学年の子どもにとっても、楽しい発表会。「発表会はいつ?明日?」と本番が近づいてくると、練習が終わるたびに聞いてくる姿に、私たち保育者もほほえましく思っていました。

そして、本番の日。大きな舞台を前に、ドキドキしている様子も見られましたが、たくさんのお客さんの前で大きな声で台詞を言ったり、それぞれの役に合わせて伸び伸びと表現したりして、発表会を楽しんでいました。また、合唱や合奏では指揮者の顔をしっかりと見て音を合わせ、元気いっぱい発表することができました。みんなで毎日頑張ってきた成果が、子どもたちのキラキラ輝く表情に表れていたように思います。

1年間の園生活や遊びを通し、たくさん経験してきたことの集大成が、この生活発表会で表れ、子どもたちの成長を、より感じていただく事ができたのではないかと思います。

保護者の皆様、ご来場いただいた方には、最後まで子どもたちに温かい応援をしていただき、ありがとうございました。





ドキドキした定期演奏会



幼稚園 島田 菜加

初めての大きな舞台に緊張しながらも、笑顔で、元気に歌うことができた青組の子どもたち。

練習の時には楽しく歌い、歌詞を理解して、みんながその歌に入り込めるような歌い方を工夫しました。思わず狸が踊りだしそうな歌い方だったり、本当に風が吹いているみたいに歌ってみようしたりと、みんなで試行錯誤をかさねながら練習しました。

最後の歌「さよならぼくたちのようちえん」は、みんなが「歌いたい!」とってくれました。今までの楽しかった思い出や、悩んだこと、いろいろな事を思い出しながら歌っている様子でした。

青組になり、一段とお兄さん、お姉さんになったみんなはかっこよく、キラキラしていました。

ドキドキしたけれど、楽しく歌えてよかったね!



がんばれ！ちびっこ消防隊！



幼稚園 畠山 由佳理

1月7日(日)、柏羽藤消防組合の出初式に、年長組の園児が出席し、幼年消防の法被を身にまとった、ちびっこ消防隊のみんなが大和川の河川敷に集合しました。消防署の方や、消防団の方と一緒に行進をし、たくさんの声援をいただきました。ちびっこ消防隊たちは、とても嬉しそうにしていました。遊戯を披露した後、出動の合図で一斉に火に向かい、掛け声をかけながら、息の合った消火活動を行いました。

これからもより一層、子どもたちと防災についての理解を深め、自分の身を守る術を身に付けていけるようにしていきたいと思います。



高校スポーツ大会を行いました

高校 山口 翔大

平成29年度高校スポーツ大会が2月に開催されました。外は冬の寒さが残る日の開催となりましたが、1・2年生ともに熱気溢れる試合が展開されました。

1年生の大縄跳びでは、各クラスが練習してきた成果を最大限に発揮し、少しでも多く回数を増やそうと仲間と団結しながら競技に取り組んでいました。また、綱引きでは男子が女子を、女子が男子を必死に応援しながら、優勝をめざして奮闘しました。

2年生のバレーボールは、今年も総合体育館と第二体育館に分かれて実施しました。全員でひとつのボールをつなぐという、チームワークが試される競技でしたが、バレーボール部や運動部などの活躍もあり、感動で涙がこぼれるほどの試合展開となりました。日頃から一緒に勉強し、一緒に過ごしている仲間だからこそできたことでしょう。

クラスの力がより深まり、学校全体が熱くなるスポーツ大会となりました。



保育進学コース 卒業公演

高校 一瀬 美恵子



12月16日(土)、記念講堂にて、保育進学コース三期生の卒業公演が行われました。演目は、ピアノ、和太鼓、劇、ダンス、合唱と盛りだくさんでした。日頃から積極的で仲が良く、演目を決める時でも誰かが手を挙げて「私がやる。」と言ってスムーズに決めることができ、決まったら他の人は協力する体制が自然と出来上がっていました。得意なダンスを全員で踊り、それを劇の中でもふんだんに取り入れました。関西女子短期大学の先生方には演技の指導、造形表現の授業ではお誕生日ボードやお面、子どもの発達と保育ではスモックや布絵本などを製作し、たくさんの先生方の協力のおかげで、生徒たち一人ひとりの心に残る卒業公演となりました。ほとんどの生徒が保育関係への進学を決めており、高校生活での学びを生かし、活躍してくれると確信しています。



平成29年度 3学期 クラブ活動報告

高校 小森 泉

前号に引き続き、クラブ活動報告をさせていただきます。

今年度特筆すべきは、女子の総合成績です。大阪高体連と共に大阪私学高体連でも入賞校となり、初めてのダブル受賞となりました。

第72回大阪高等学校総合体育大会(女子) 総合成績 入賞校 第4位!

本校の女子体育系クラブの年間成績が、大阪府下すべての高等学校(私立・市立・府立)の中で第4位となり、入賞校として表彰を受けました。



平成29年度 大阪私学高等学校総合体育大会(女子) 総合成績 第3位!

同じく年間成績が、大阪府下すべての私立高校の中で第3位となり、優秀校として表彰を受けました。



なぎなた部

平成29年度
新人大会兼
全国選抜大阪府予選会
(1月)

団体の部 準優勝
1年生演技の部 優勝



平成29年度
近畿高等学校
なぎなた選手権大会
(2月 和歌山県)

団体の部 準優勝



ハンドボール部

平成29年度 大阪高体連専門部 南地区優秀選手に
ハンドボール部員1名が選出されました。

吹奏楽部

第31回南大阪アンサンブルコンテスト
高等学校の部 金管四重奏 優秀賞



建学の精神「感恩」とスクールカラーが 商標登録されました。

～ クラブのユニフォームなどにどしどしご使用ください! ～

法人本部 経営企画室 植田 陽

昨年5月に3件の申請を行い、本年1月に2件、2月に1件と、すべて商標登録されました!

まず建学の精神である「感恩」*1及びロゴ*2(下図参照)です。私学の特長のひとつが、それぞれの建学の精神に基づき、個性豊かで多様な教育を行うことにあります。玉手山学園は「感恩」を大切にし、それに基づき教育を行っています。教職員にとっての心の拠りどころでもあります。その精神を、**今までも、これからも大切にしていきたい、みんなを守っていきたい**と思い、今回「感恩」という言葉と文字(ロゴ)、2件を商標登録いたしました。

もう1件はスクールカラーであるTama Blue(タマブルー)*3です。学園の存在意義である**夢と志の象徴**として、深い大空からいただいたコバルトブルーです。ふと見あげたとき、私たちを見守ってくれる大空にこの色を見つけたら、母校を、学園を思い出してほしい、との願いも込められています。このTama Blue(タマブルー)という言葉とともに、その想いを大切にしていきたいと思えます。

学園は未来永劫皆さまの青春の故郷(ふるさと)・心の拠りどころとなりたい、といつも思っています。また教職員の皆さまにも学園に誇りを持っていただき、Tama Blue(タマブルー)や建学の精神「感恩」を、今後ともいろいろな機会や場面で使用していただけたらと思います。そのことが皆さまの母校愛にもつながることを祈念しています。

㊦1 登録第6017616号 ㊦2 登録第6010630号 ㊦3 登録第6010631号

「感恩」ロゴと商標登録証



Tama Blue(タマブルー) 銘板と商標登録証



理事長コメント

“学び仕事をしている学園、永遠の「青春のふる里」、ありがとうを大切に、夢と志、よし頑張ろう!” そうした前を向く存在感、思いに見える形にして一層の共有・定着を期待したい。それが商標登録の狙いです。独占ではなく、大きく確かな広がり願っています。「青」は玉手山学園の色“Tama Blue”、自然に連想され、親しまれ広く活用されることを希います。



理事長・学園長 江端 源治



「認定こども園」として 今年度からスタート!



幼稚園 園長 岡本 京子

平成30年4月1日、関西女子短期大学附属幼稚園は「認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園」としてスタートいたしました。

本園の「教育方針」はあそびを通して学びへとつなぎ、心身の調和の取れた子どもを育てていくことです。今年度からは今までの幼稚園教育に新たに保育機能が加わり、「0歳から5歳までの一貫教育」「長時間教育」を行い、教育と保育の充実を図っていきます。子どもによっては、保育時間の違いが生じますが、教職員は子どもたちのために鋭意努力してまいります。

また、自園給食も始まり、食育への環境も整いました。子どもたちの成長を促すためには、遊びと食事の2本柱が大切です。給食は子どもたちの1日の栄養所要量の40～50%に相当するとも言われています。これからは、調理室から漂ってくるいろいろな食べ物の匂いに、食欲がわき、食べるのが楽しみになってくれると思います。

毎日、食事を作ってくれる人への感謝の気持ちと、自然の恵みとしての食材に興味関心を持ってくれることでしょ。また、本園には栄養士もいますので「自園給食」が「家庭の献立のヒント」にもつながることを期待します。調理室から安心でおいしい食事を子どもたちに届けられることを嬉しく思います。

尚、調理室の窓から調理の様子を見ていただくことができますので、お気軽に見学にお越しください。



学園広報編集委員会

委員長 湯川 雅紀 (大学教育学部)
委員 横山 学 (大学事務局)
辻村 匡志 (大学事務局)
松村 奈美 (高等学校)

村井 恵 (幼稚園)
植田 陽 (法人本部)
與原 真弓 (法人本部)

松井 愛 (法人本部)